

令和5年度

行田市立太田小学校

足袋作り体験



第3学年

特色

- 行田市は、足袋作りが盛んな地域であり、3年生は社会科の「わたしたちの市でつくられるもの」の学習で、足袋作りについて学んでいる。そこで、児童が地域の伝統産業についてより深く学び、地域に愛着をもって生活していってほしいという思いから、学区内にある縫製加工会社に依頼し、児童がデザインを手がけた世界に一つだけの足袋を作る活動を行っている。

児童の感想

- 今日の体験を通して、行田は日本一の足袋産地ということが分かった。また、足袋の作り方は13段階あることも分かった。
- 足袋には、カラフルな足袋や地下足袋、ランニング用の足袋などたくさんの種類があり、さらに、コンテストもあって足袋はすごいんだなと思った。

成果

- 授業で学ぶだけでなく、実際に足袋作りを体験することで、児童の興味・関心を広げることにつながった。
- 授業後に、行田市の伝統文化について自主的に調べたり、地域に関心をもって行事に参加したりする児童が多くいた。